

公共施設などに関するアンケート集計結果

令和元年9月12日
洲本市財務部行革推進室

I 調査の概要

1 調査の目的

公共施設等の個別施設計画の策定にあたり、今後の公共施設等の維持管理・運営に関する方向性検討の基礎資料としたいため、アンケート調査を実施しました。
(公共施設等: 公共施設及びインフラ資産(道路、橋梁、下水道等))

2 調査方法

- ①調査方法 インターネットによる調査(洲本市ホームページ上)
- ②調査期間 令和元年8月13日(火)～9月9日(月)の28日間

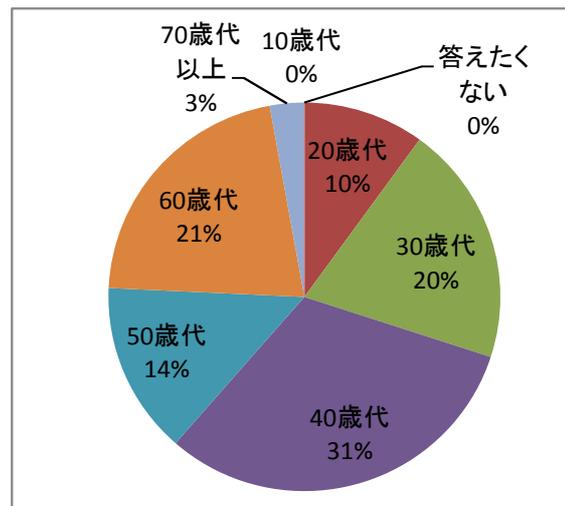
3 回答結果

回答数 70件

II 回答者について

Q1 : あなたの性別をお答えください。

内容	回答数	割合
男性	42	60%
女性	28	40%
答えたくない	0	0%
合計	70	100%



Q2 : あなたの年齢をお答えください。

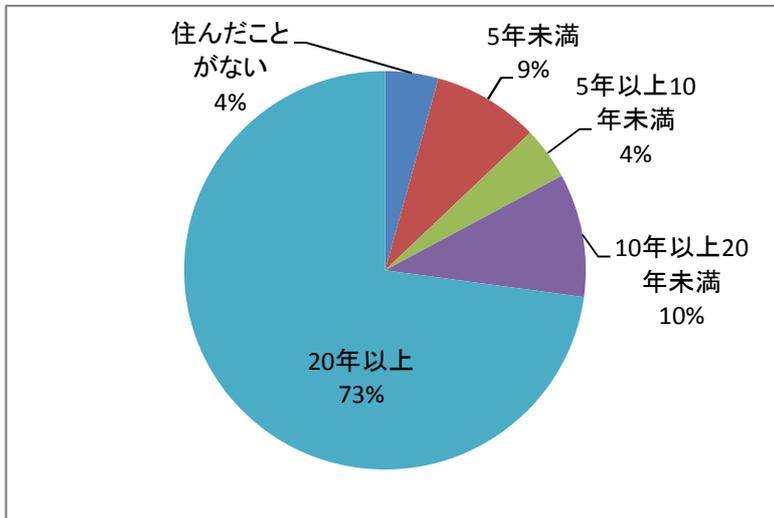
内容	回答数	割合
10歳代	0	0%
20歳代	7	10%
30歳代	14	20%
40歳代	22	31%
50歳代	10	14%
60歳代	15	21%
70歳代以上	2	3%
答えたくない	0	0%
合計	70	100%

Q3 : あなたのお住まいの地域などをお答えください。

内容	回答数	割合
洲本地域	52	74%
五色地域	11	16%
勤務先が洲本市にある	7	10%
将来、洲本市に住みたいと考えている	0	0%
勤務先が洲本市にあり、将来、洲本市に住みたいと考えている	0	0%
その他	0	0%
合計	70	100%

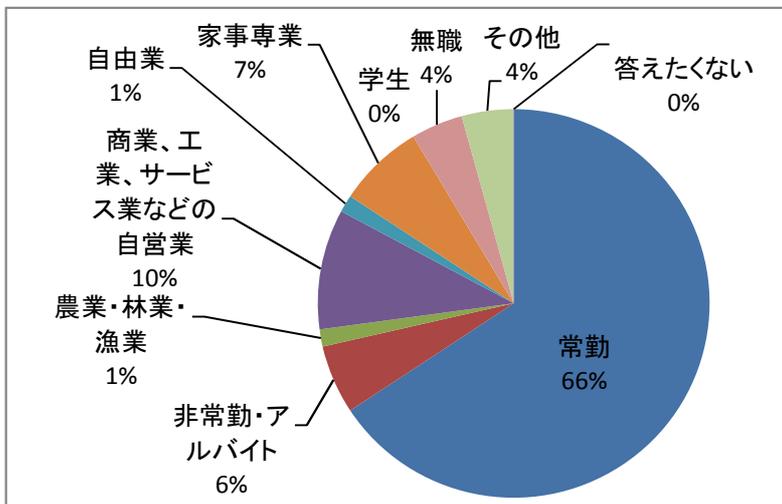
Q4：あなたの洲本市(旧五色町を含む)での居住年数をお答えください。

内容	回答数	割合
住んだことがない	3	4%
5年未満	6	9%
5年以上10年未満	3	4%
10年以上20年未満	7	10%
20年以上	51	73%
合計	70	100%



Q5：就業状況をお答えください。

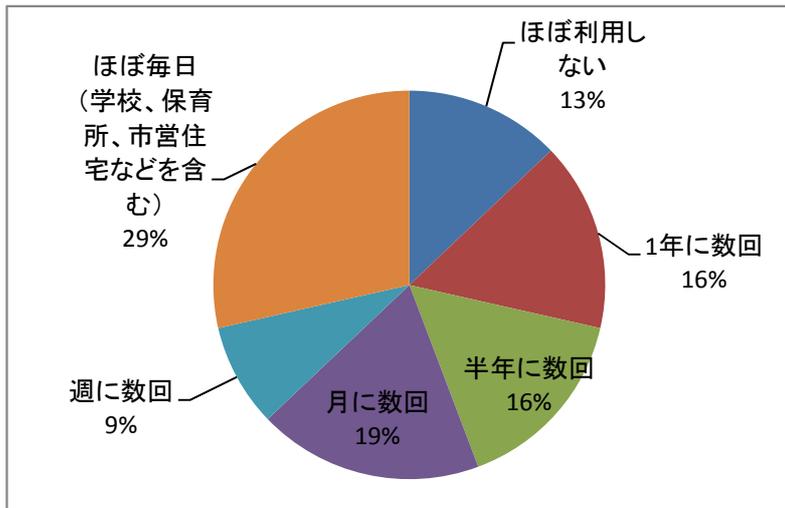
内容	回答数	割合
常勤	46	66%
非常勤・アルバイト	4	6%
農業・林業・漁業	1	1%
商業、工業、サービス業などの自営業	7	10%
自由業	1	1%
家事専業	5	7%
学生	0	0%
無職	3	4%
その他	3	4%
答えたくない	0	0%
合計	70	100%



Ⅲ 質問と集計結果について

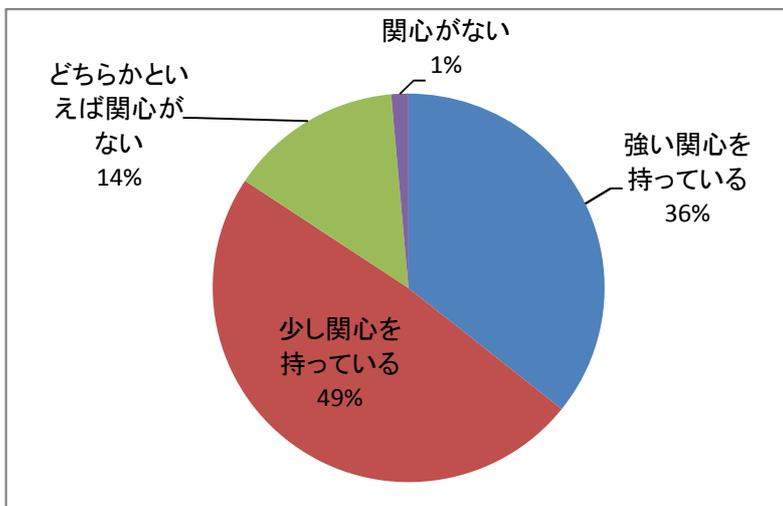
Q6：あなた(同居のご家族を含む)はどの程度、洲本市の公共施設(インフラ資産を除く)を利用していますか。

内容	回答数	割合
ほぼ利用しない	9	13%
1年に数回	11	16%
半年に数回	11	16%
月に数回	13	19%
週に数回	6	9%
ほぼ毎日(学校、保育所、市営住宅などを含む)	20	29%
合計	70	100%



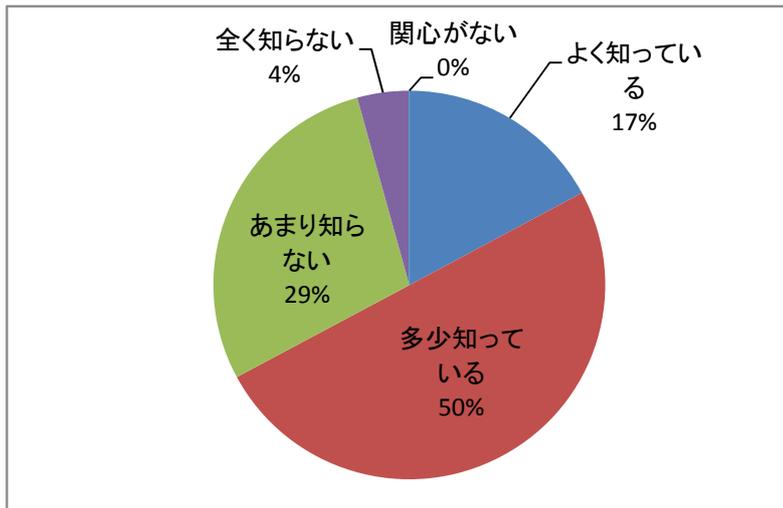
Q7：洲本市の公共施設・インフラ資産の現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。

内容	回答数	割合
強い関心を持っている	25	36%
少し関心を持っている	34	49%
どちらかといえば関心がない	10	14%
関心がない	1	1%
合計	70	100%



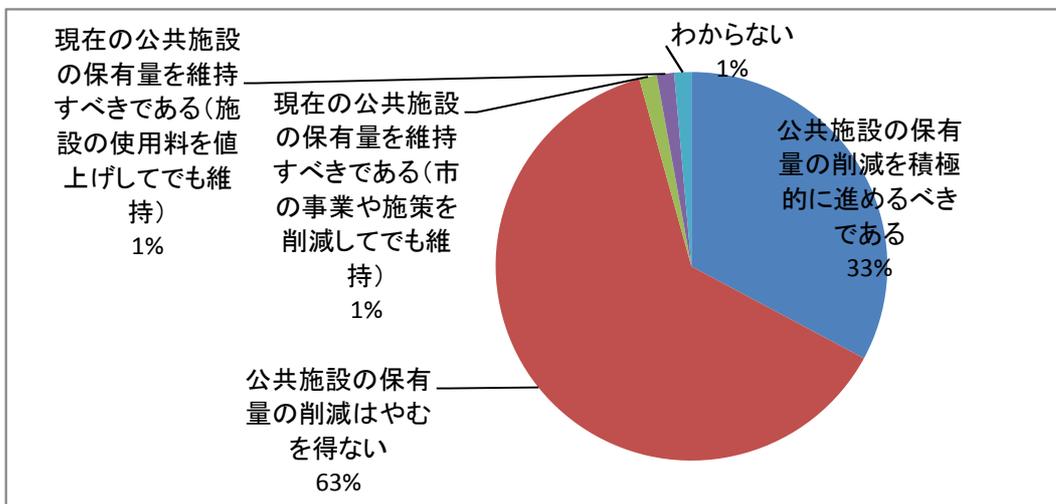
Q8：今後、建替え・更新・改修に多額の費用が必要となる公共施設・インフラ資産の状況や、人口減少・厳しい財政状況など、洲本市が直面する課題についてあなたはどの程度、ご存知でしたか。

内容	回答数	割合
よく知っている	12	17%
多少知っている	35	50%
あまり知らない	20	29%
全く知らない	3	4%
関心がない	0	0%
合計	70	100%



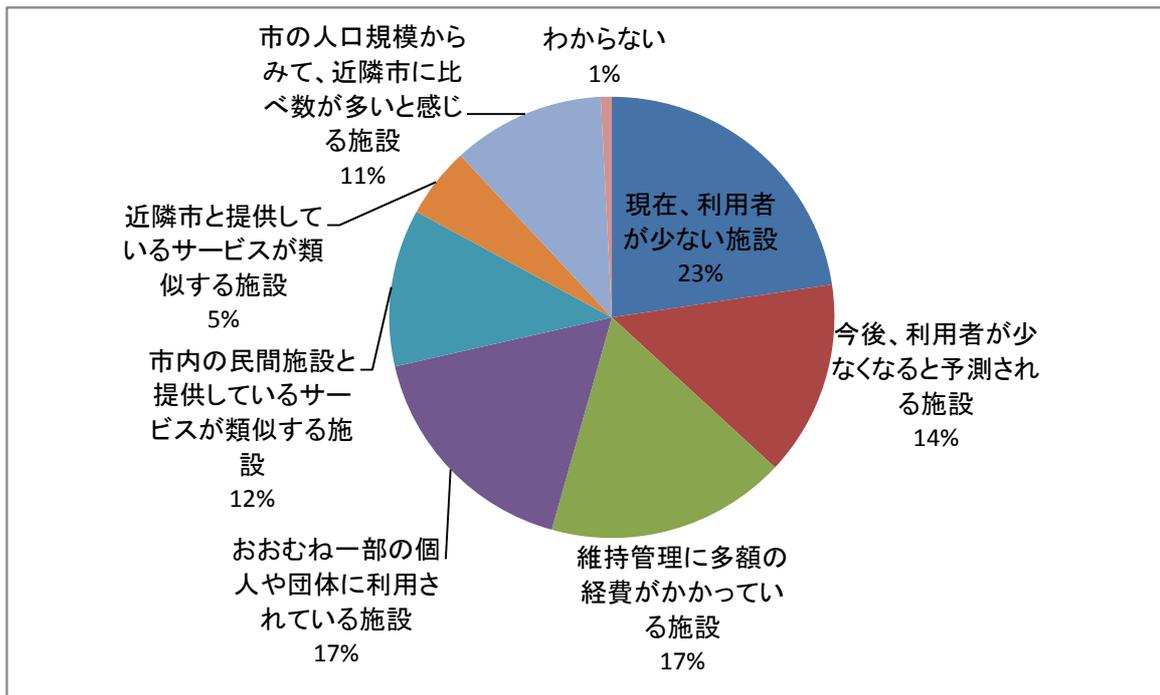
Q9：昭和40年代～50年代に整備された公共施設が一齐に老朽化し、今後の維持管理や更新に膨大な財政負担が予想されています。公共施設の保有量の削減について、あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

内容	回答数	割合
公共施設の保有量の削減を積極的に進めるべきである	23	33%
公共施設の保有量の削減はやむを得ない	44	63%
現在の公共施設の保有量を維持すべきである(市の事業や施策を削減してでも維持)	1	1%
現在の公共施設の保有量を維持すべきである(施設の使用料を値上げしてでも維持)	1	1%
わからない	1	1%
合計	70	100%



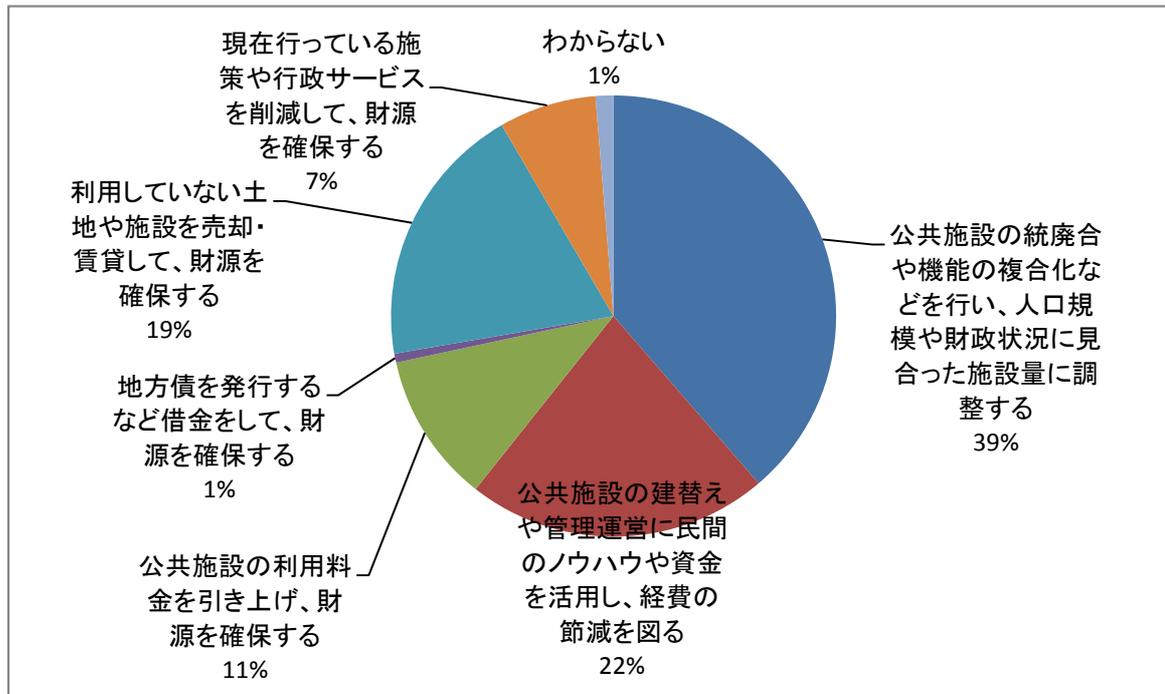
Q10：今後、既存の公共施設を削減することが必要になったとしたら、それはどういった施設から行うべきと考えますか。
※複数選択可

内容	回答数	割合
現在、利用者が少ない施設	57	23%
今後、利用者が少なくなると予測される施設	36	14%
維持管理に多額の経費がかかっている施設	44	17%
おおむね一部の個人や団体に利用されている施設	43	17%
市内の民間施設と提供しているサービスが類似する施設	29	12%
近隣市と提供しているサービスが類似する施設	13	5%
市の人口規模からみて、近隣市に比べ数が多いと感じる施設	28	11%
わからない	2	1%
合計	252	100%



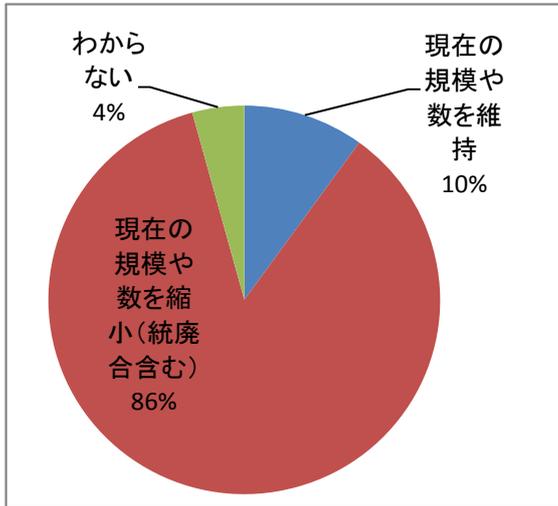
Q11：今後、公共施設の建替え、大規模改修や維持管理に必要な財源が不足することになると見込まれていますが、どのように対処すべきと考えますか。
 ※複数選択可

内容	回答数	割合
公共施設の統廃合や機能の複合化などを行い、人口規模や財政状況に見合った施設量に調整する	60	39%
公共施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費の節減を図る	34	22%
公共施設の利用料金を引き上げ、財源を確保する	17	11%
地方債を発行するなど借金をして、財源を確保する	1	1%
利用していない土地や施設を売却・賃貸して、財源を確保する	30	19%
現在行っている施策や行政サービスを削減して、財源を確保する	11	7%
わからない	2	1%
合計	155	100%



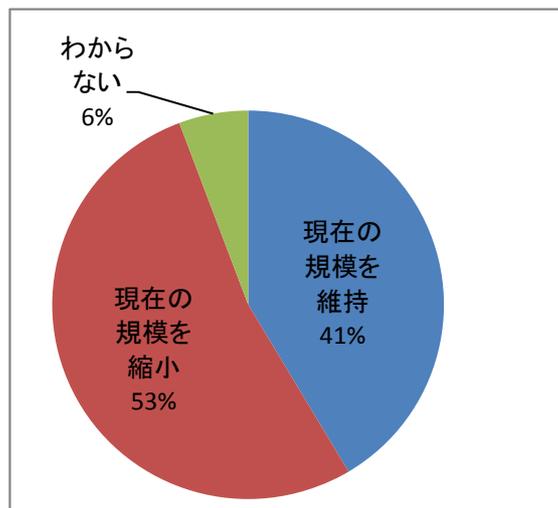
Q12：人口減少や少子高齢化が進展し、施設の利用ニーズが変化している中で、次に掲げる施設は今度どうしていくべきと考えますか。まずは「公民館」からお尋ねします。

内容	回答数	割合
現在の規模や数を維持	7	10%
現在の規模や数を縮小(統廃合含む)	60	86%
わからない	3	4%
合計	70	100%



Q13：淡路文化史料館

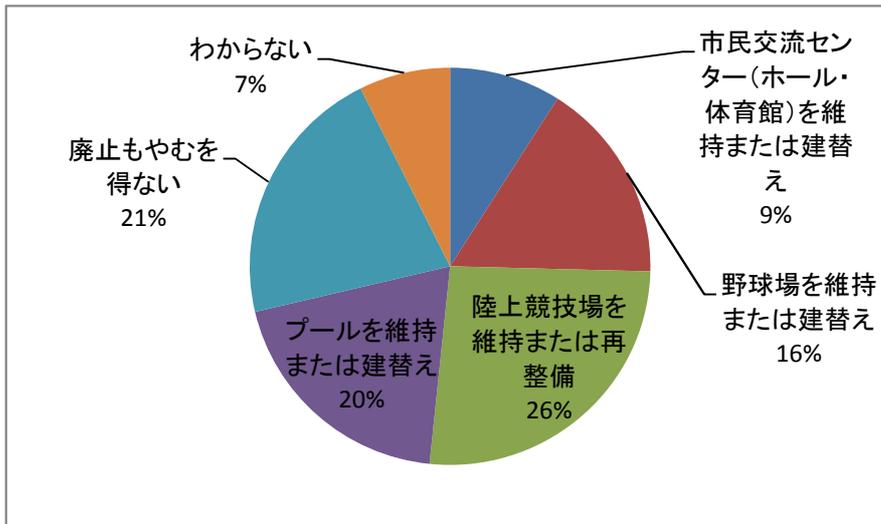
内容	回答数	割合
現在の規模を維持	29	41%
現在の規模を縮小	37	53%
わからない	4	6%
合計	70	100%



Q14：市民交流センター(野球場、陸上競技場、プール含む)

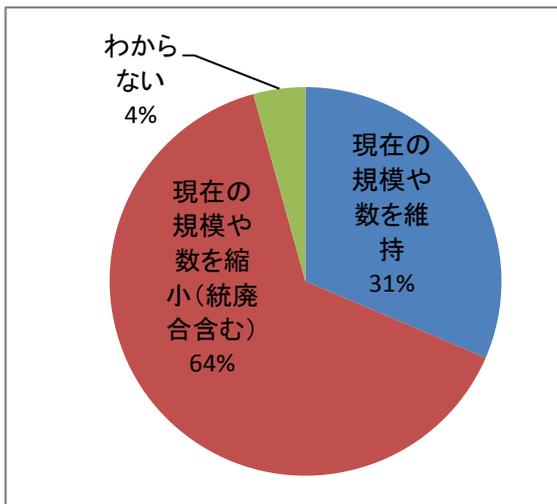
※複数選択可

内容	回答数	割合
市民交流センター(ホール・体育館)を維持または建替え	11	9%
野球場を維持または建替え	20	16%
陸上競技場を維持または再整備	32	26%
プールを維持または建替え	24	20%
廃止もやむを得ない	26	21%
わからない	9	7%
合計	122	100%



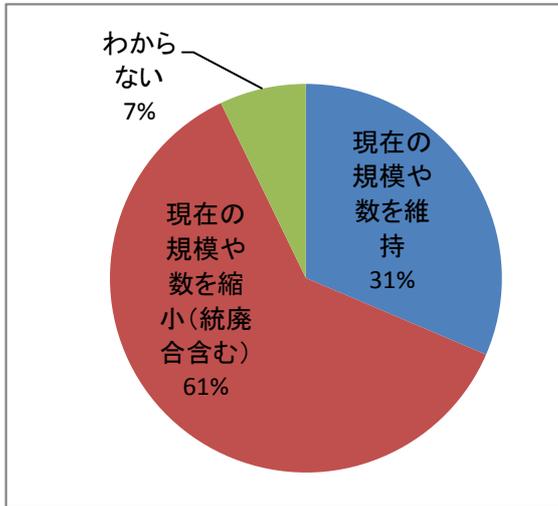
Q15：小学校(13校)

内容	回答数	割合
現在の規模や数を維持	22	31%
現在の規模や数を縮小(統廃合含む)	45	64%
わからない	3	4%
合計	70	100%



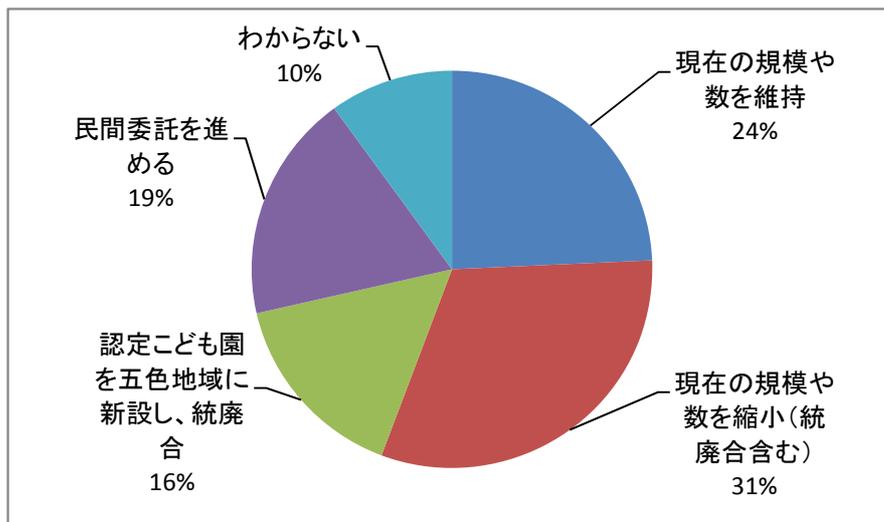
Q16 : 中学校(5校)

内容	回答数	割合
現在の規模や数を維持	22	31%
現在の規模や数を縮小(統廃合含む)	43	61%
わからない	5	7%
合計	70	100%



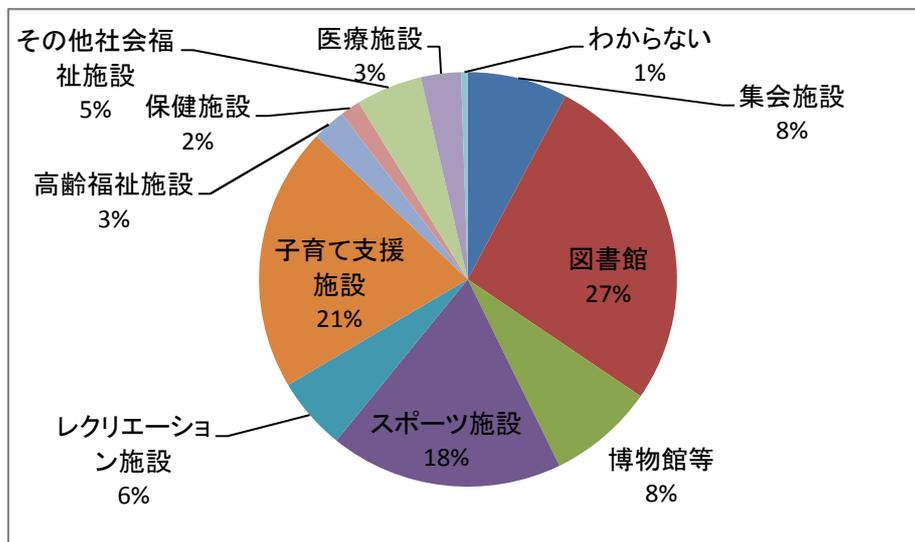
Q17 : 市所有の認定こども園・保育所(園)・幼稚園

内容	回答数	割合
現在の規模や数を維持	17	24%
現在の規模や数を縮小(統廃合含む)	22	31%
認定こども園を五色地域に新設し、統廃合	11	16%
民間委託を進める	13	19%
わからない	7	10%
合計	70	100%



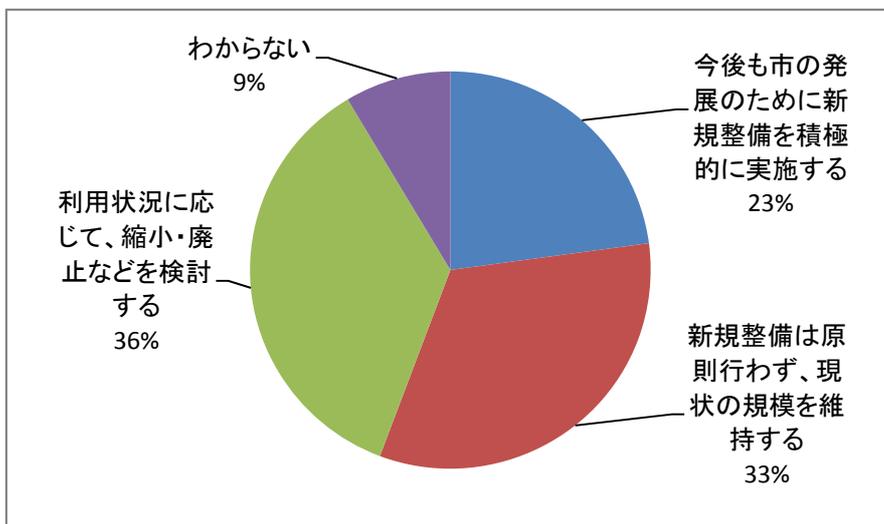
Q18：公共施設の中で、必要不可欠なものとして「小中学校」、「市営住宅」、「市庁舎」などが挙げられますが、それ以外の施設について、将来にわたり優先的に維持すべきと考える施設を、以下の中から3つまで選んでください。

内容	回答数	割合
集会施設(公民館、市所有の集会所、鮎愛館)	15	8%
図書館(洲本図書館、五色図書館)	52	27%
博物館等(淡路文化史料館、中山間総合活性化センター、高田屋顕彰館・歴史文化資料館、旧アルファビアなど)	16	8%
スポーツ施設(市民交流センター、アスパ五色、文化体育館など)	35	18%
レクリエーション施設(高田屋嘉兵衛公園、エトワール生石)	11	6%
子育て支援施設(なのはなこども園、保育所(園)、幼稚園)	40	21%
高齢福祉施設(老人憩の家あいはら荘、大野陽だまり館)	5	3%
保健施設(五色県民健康村健康道場、トレーニングセンターなど)	3	2%
その他社会福祉施設(総合福祉会館、五色健康福祉総合センター(サルビアホール)、五色地域福祉センターなど)	10	5%
医療施設(各診療所)	6	3%
わからない	1	1%
合計	194	100%



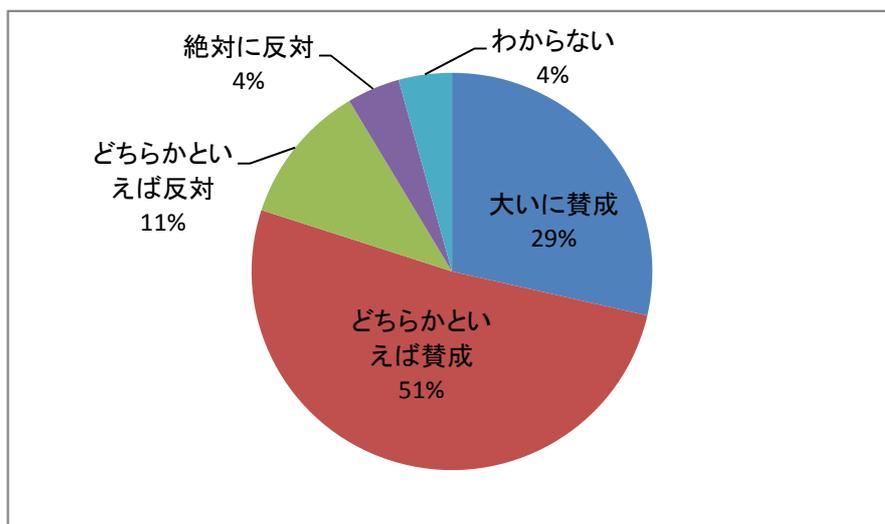
Q19：道路、橋りょう、下水道などのインフラ資産のこれからの管理運営方法について、あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

内容	回答数	割合
今後も市の発展のために新規整備を積極的に実施する	16	23%
新規整備は原則行わず、現状の規模を維持する	23	33%
利用状況に応じて、縮小・廃止などを検討する	25	36%
わからない	6	9%
合計	70	100%



Q20：淡路島全体の人口が減少していく中で、島内3市が、それぞれの分野の施設を保有するよりも、多少遠くなくても、島内3市で役割分担して保有する考え方についてどう思いますか。

内容	回答数	割合
大いに賛成	20	29%
どちらかといえば賛成	36	51%
どちらかといえば反対	8	11%
絶対に反対	3	4%
わからない	3	4%
合計	70	100%



IV 自由意見について

Q21：公共施設・インフラ資産の今後のあり方についてご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

今更言っても遅いが、こういう議論を新庁舎建設以前に大々的に行うべきであった。
新庁舎45億円の建設費があれば、既存施設の大規模改修がもっと行えたはず。
五色地域の保育園と小学校の統廃合は早急に行うべき。
島内3市でこんなに悠長なことをしているのは洲本市だけ。
旧洲本地域の下水道の延長。
これも他市に比べ、大幅に遅れている。
旧洲本地域の閉所された保育所・幼稚園の有効活用。
新たな箱物を建てるばかりが能ではない。

公共施設は施設数よりも質(機能)を高め、住民がわくわくする街づくりを期待します。
また、インバウンド客の受け入れを前提とした施設設計とするなど、多機能化を促進し、外に開かれた施設となることを期待します。
一方、道路整備の観点では、車道の整備は費用対効果が薄れてきていると感じます。
それよりも安心して使える歩道/自転車を充実するスロートラフィックが大事になっていると思います。
また、上下水道整備ですが、人口減少のなか、多額の投資＝使用料金の高騰が懸念されます。
地方の電力インフラ(送電網)も将来の赤字化が強く懸念されており、同じ現象が発生するでしょう。
今後の地方都市は、自立分散型インフラ社会を目指すことで、災害に強い街づくりを目指すことが重要でないかと考えます。

道路に関して
今後高齢ドライバーが増えていくと思われる中、あまりにも危険な道路が多いと感じます。
不幸な事故が起こらないように交通量が多いにも関わらず極端に狭い道路や見通しの悪い道路は積極的に整備して貰いたいです。
また高齢ドライバーが安心して免許証を返納できるようなサービスを整えて貰いたいです。

人口減少を勘案すると、公共施設の維持管理にあたっては、使用料の値上げや統廃合による遠距離化など住民に負担を強いることも一定やむを得ないと思う。

文化史料館のトイレがドブ臭かった。
エレベーター設置して下さい。
旧アルファビアも使用しないと勿体ないと思います。

そもそも淡路島の人口が半減しているのに、施設数が同じだというのは理論的におかしいでしょう。減量すべきだと思います。

淡路文化史料館はもっと地元の人が訪れるようイベントを開催すればいいと思う。もっと展示物増やしてほしい。
トイレが臭い。エレベーターつけて欲しい。
公民館の駐車場、車が入りにくい。エレベーターつけて欲しい。

市民交流センター、市内に新たに文体ができたし同じような施設と被るホールや体育館等はなくなっても致し方ないのかも。小学校等の放課後等で使用していないとき体育館の開放使用を一般にもう少し解放してもいいのかも。
公民館ですが、地域密着のコミュニティや何かあったときの避難場所として数を絞るのは納得がいかない。ただ維持管理に関しては地域住民と一緒にやってほしい。
五色地域のこども園は、いかがでしょうか。どこにつくるのか、送迎等のバスがあるでもなく保護者負担が増えるだけのような気がします。また、なのはなこども園も3年保育に力を入れて欲しい。そしてわたぼうしと連携して欲しい。
人口が減っていつているので、サービスの統合は仕方ないが、現在の住民サービスがあまり遠い場所へ行ってしまふのは困る。

中川原のスマートICに関しては、無意味という声をよく聞く。
オニオンロードとかも立派な道路だけど需要はどの程度あるのか。
特に必要と思わない新規道路が着工中だが、見合った利用が見込まれているのか。
市街地の洲本川にかかる橋も、やたら多いように思う。
そのせいか、信号が多すぎて交通渋滞が発生している。
作れば維持費がかかるわけで、今後、架け替えの時期が来たら、
いくつかはそのまま撤去してもいいのではないかな。

公会計制度がもう少し浸透して、一般の人にも洲本市の財政状況がもっと見えるようになれば、
何か変わるかも知れませんか

外部の人間から見て必要の無い施設は、無駄なものと考えます。

必要最低限の公共施設・インフラは、生活や生命の維持に係わるかどうかで判断する。
たとえば、道路や橋がなければ生活が立ちゆかないが、
図書館やグラウンド、体育館などは無くても暮らしに困ることはない。
ところで、学校は体育施設・文化施設を総合的に含んでいる。
昔から学校は地域の中心とも言われてきた。
これを統合し、規模・機能を拡充すれば、地域に根差した総合施設に早変わり、である。

一部の声の大きい人の意見や正論に縛られず、聖域なき統廃合を進めることが必要と考えます。
個人的に感じるのはこの人口規模で図書館2館は過大です。鮎原公民館の図書室などに整理
するべきでしょう。

公共施設については、地域の避難所として指定されているものもあるため、統合等により施設を
減らした場合、これまで以上に早めの避難を呼びかけるなどとともに、施設のかさ上げ、安全な
うちの避難に向け、車での避難に対応できるよう駐車場の確保も必要と思う。

合併後10年以上も経過しているにもかかわらず、施設の再編・統合がまったく進んでいません。
人口や財政規模に応じた施設の再編は不可避であると思います。
今後の人口予測や財政環境を考慮すると、大胆な決断をすべきときではないでしょうか。

環境を破壊せず長期的に考えて検討してほしい。観光だけでなく住みたいと思えることに役立つ
施設は積極的に造ってほしいが、可能なら、既存の施設を有効活用してほしい。
ポートターミナルは景色も立地も良く観光的に中核を担える場所にあるが、ポートピアがあるなど
もったいない。のじまスコーラのような施設にしてもらうほうが良いと考える。

公共の交通機関を安く便利にするなら多少遠くても統廃合は良い。
必要最低限でリノベしながら長期的に維持する。
施設を統廃合するが利用料金は安くしてほしい。
淡路島の景観維持を第一にしてほしい。
都会には屋内に遊具で小さな子どもが遊べる施設がある。紫外線が強くなり危険な虫も増えて
るため屋内公園のような施設を有料でも良いので設置してほしい。

人口が減少する中で、3市合併はこの先に必ずあるものとする。
3市合併後の新市の状況を見据えた上で、公共施設は整備しなければならないと思う。
例えば、スポーツでいえば淡路市には佐野球場があり、洲本市にはアスパのサッカー場がある。
人口が減って1市になった時のことを考えると、今洲本の市民球場を再整備したり、
淡路市でサッカー場を整備したりするのはもったいない話だと思う。
私自身は幼いころから少年野球をしていたので、市民球場には思い出もあり、
個人的には残してほしいのですが…。

民意の意識向上のため公民館や集会場は必要と考えます。今ある耐震が出来ている施設を優先して使い、基本新しい施設は作らない。公民館や集会場も空き家や空き店舗で補う。小学校の一部を公民館や集会場に使う、といったように今ある場所を有効に利用して新しく作らない工夫を願いたい。

子育て支援施設は積極的に
箱より中身の充実を希望

洲本市は、交通の便が悪い事。
島外に行くのが一番不便で交通費が高い。これでは、外からの洲本市の人口が増えるとは思えない。
スマートインターの利用客を考えると、一部の人の無駄な工事ではないですか？
沢山の人が利用出来る交通網を作って貰いたい。このままでは人口も減り老人の街になり兼ねない。
東京のアンテナショップも無駄ではないのか。市民の税金を無駄にせず、もう少し調べてからやって欲しいです。
道路を新しく作っても、本当に必要かどうか調べてから作って欲しい。今も工事途中で止まっている所もあるのでは。
特に道路工事の時、終わったかと思えば、又同じ所を掘り起こすと言う無駄が目立つ。
空き地も増える一方です。借り上げでもして上手く使って欲しい。
もっと早くから緊迫感を持って、取り組んで貰いたいです。

現在ある建物を使う。
市役所や健康福祉館を市民が使えるように開放する。
市役所が市民交流の為に使えないのか？職員の為の市役所のように思える。

人口減少に伴う市税、交付金など税収減少の将来予測を示してください。
不明では公共施設、インフラの更新についての正しい判断ができません。
無借金で更新できる財政状況であれば、すべて更新でOKですが、
将来負担比率を悪化させる状況であれば選択が必要です。
まずパンとサーカスの部分、スポーツ施設など過剰で奢侈的施設から見直しが必要と思います。

財政難ならば東京のアンテナショップに100万円の家賃を出す必要はないと思う
同じような施設が多過ぎて分かりにくい

どんどん子供の数が減って、こういうアンケートは有難い。
地域ごとに公民館・集会所は必要だろうけれど、あるものを修復したりと出来るだけお金を使わないやり方で。空き家をおしゃれに修復しても面白い。マスコミが取り上げてくれるような。
<古民家の町洲本>・・住民も市職員も、もっと知恵を出し合ってやっていきませんか。
洲本福祉会館(2か所)・市役所・・空いている部屋の活用が可能なのでは。
他にも、今度中学に入学の孫のクラブ活動も、やりたいものがない等いろんな問題が。
大浜の駐車場の料金を有料化できないものですか。・・花火の費用に充てられませんか。
東京のアンテナショップも無駄使いになってないですか・・主婦目線では、もったいない。

とにかく無駄を省いてください
特に最近では
東京に出した淡路のアンテナショップ行きました
何の魅力もなく場所もわかりずかく
お客さんもみません
お家賃が安価？と聞きましたが
そのお家賃どこからどんな形ででてるんでしょうか

東京のアンテナショップは、必要ないと思います。

公共施設は島内3市で役割分担して造るべきと強く望む。五色図書館は洲本図書館に、博物館は統廃合して旧アルファビアに集結し、アルファビア、市民広場周辺の充実をはかる。建物含む周辺の美的統一が大事。